

住民こそ主人公・住民のための市政を

明日の相模湖

No. 918

2025 年 9 月号

発行：日本共産党相模湖支部

住所：相模原市緑区寸沢嵐794-3

宮崎あき子気付

電話：042(685)1046

mail: jcpsagamiko@gmail.com

土木関係の要求に対する市の回答 ①

日本共産党相模湖支部は、住民のみならずから寄せられた要求や要望を実現するために、継続的に関係機関と交渉を行ってきました。今年2月に土木に関係する17項目の要求・要望と倒木や樹木・雑草の対策を津久井土木事務所相模湖班と交渉を行いました。このほど文書回答がありましたので、抜粋して紹介します。（回答の全文はホームページに掲載）

●寸沢嵐2791の10のー氏宅前から下り、国道412号（正覚橋付近）に降りる道路の横断側溝の点検を

【回答】ご要望の箇所の横断側溝については、点検、清掃を行う。また、道路整備については、当該道路が4mに満たないことから、土地所有者の方々から市の狭あい道路整備事業の条件に当てはまるか相談していただく必要がある。このようなことから路面のわだちなどが発生した場合は補修を実施する。

〈注〉この

箇所の土手は軟弱地盤で一昨年崖崩れがありましたが補

強工事が行われました。（写真①）

●市道関口道志線から入る寸沢嵐2782付近（近くに稲荷神社あり）の生活道路の舗装を早急に

【回答】ご要望の道路の市道原口4号は、土地所有者の方々から狭あい道路整備の申請がされた。本年度は測量を実施する。

〈注〉この要求に関してはこれまでの交渉のなかで、測量や用地買収を行う



写真①補強された斜面



写真②簡易舗装前

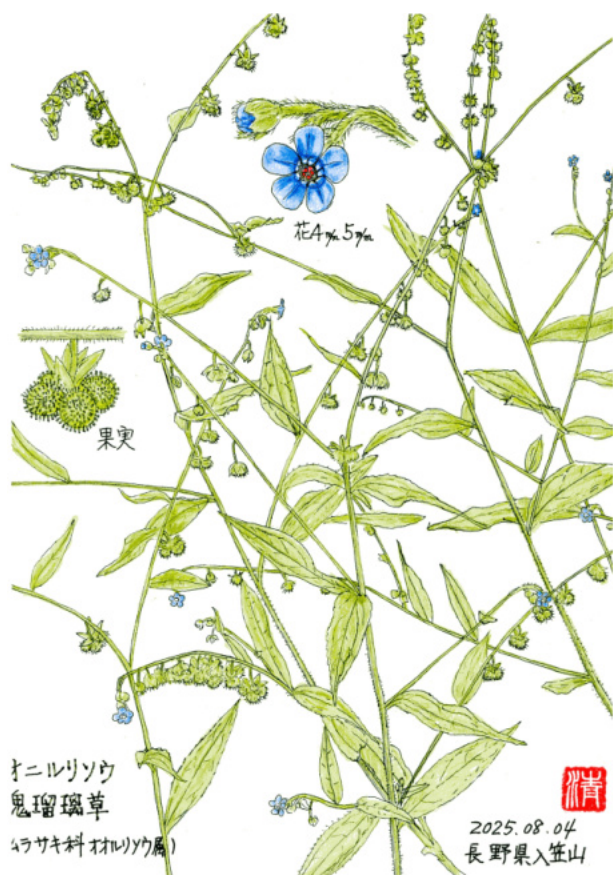


写真③簡易舗装後

と回答があったものの、財政難などを理由に着工が遅れています。改めてこれまでの経過を詳しく説明し、とにかく最優先で取り組んで欲しいと強く要望しました。なお要求箇所は凸凹が激しいため、応急措置を求めましたが、すぐ簡易舗装がされました。（写真②③）

●国道412号、相模湖MORIMORI（旧プレジャーフォレスト）横の横断歩道の塗装含む整備を

【回答】歩道橋を含む橋梁の修繕については、橋梁長寿命化修繕計画に基づき5年に一度点検を行い、措置が必要と判断された橋梁について、次回点検までに修繕を実施している。ご要望の歩道橋は、過去の点検において健全な状態であることが確認されているが、令和9年度に予定する次回点検結果に基づき必要な措置を行う。なお、道路の凸凹など軽微な修繕については都度行っていく。（次号へ続く）



自然観察シリーズ
NO. 586
植物

オニルリソウ（鬼瑠璃草） （ムラサキ科オオルリソウ属）

オニルリソウは山地に生え、林道脇や草地に見られる草丈60cm～1m位になる越年草です。

に分かれた丸いトゲだらけの果実が出来て、枝にずらりと付いています。このトゲで動物の体に付いて散布されます。

良く似たオオルリソウはより花も多く付き、5～8mmと大きく、花期も6月～7月と少し早いようです。

オニルリソウは何度も見た事が「ありますが、オオルリソウは分布が違うせい

か、まだ見た事がないかもしれません。

えんどう坂の防護柵、補修終わる

2019年10月に押し寄せた台風19号は日本各地に大きな被害をもたらしました。与瀬のえんどう坂付近でも大規模な土砂崩れが起こり、半月近く通行できない状態でした。

土砂が取り除かれた後も、傾いた電柱、折れ曲がったガードレール、階段の防護柵の変形などはなかなか補修が進みませんでした。対市交渉の中でこれらの補修を繰り返し要求してきましたが、



電柱は約7ヶ月後、ガードレールは昨年7月に補修が終わりましたが（「明日の相模湖」NO.904で紹介）、このほど階段の防護柵もやっと元の状態になりました。

